

『表現学』第8号(2022年2月5日)抜刷
大正大学表現学部表現文化学科

SNS上の「なりすまし」から考える日本語の特徴
—役割語と人称代名詞に注目して—

中島 紀子

SNS上の「なりすまし」から考える日本語の特徴

——役割語と人称代名詞に注目して——

中島 紀子

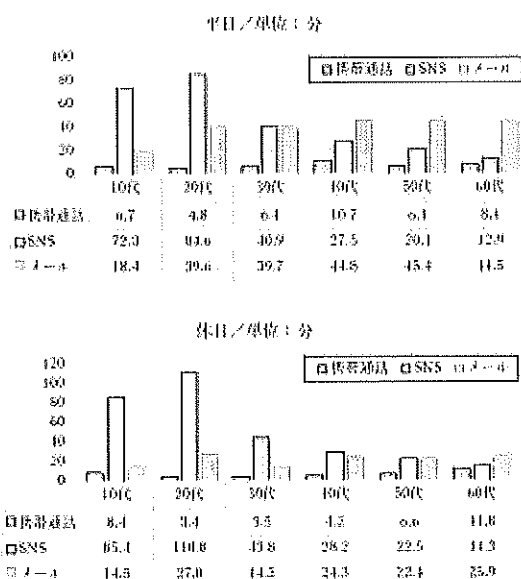
1. はじめに

総務省調べの令和3年版情報通信白書によると、2020年の年齢階層別ソーシャルネットワークサービス（以下、「SNS」とする）の利用状況は、20～29歳が最も多く90.4%、20歳以下でも、13～19歳が86.1%、6～12歳が37.6%となり、昨年と比較しても全体で4.8%伸びている。（資料1）

SNS利用者の増加とともに、個人情報流出、著作権侵害、フィッシング詐欺、誹謗中傷・いじめなど、SNS上のトラブルも絶えない。大人ばかりでなく、高校生以下の子供たちが被害に遭うことも多い。

本稿では、SNS上で使用される言語の特徴を確認しながら、トラブルの中でも「なりすまし」事件として新聞に取り上げられた実際のケースから、なぜ「なりすまし」が成立するのか日本語の特徴から探っていく。また、ネットリテラシー教育についても触れる。

（資料1）コミュニケーション手段の平均利用時間
（上段：平日、下段：休日）



出典：総務省情報通信政策研究所「令和2年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」をもとに作成

2. SNS上の言語の特徴

SNS上の言語は、文字を媒体とするため「書き言葉」の要素をもちながら、より「話し言葉」に近い特徴をもつため、近年「打ち言葉」と呼ばれている。

2.1 打ち言葉

田中（2014、p37）によれば、「打ちことば」とは、以下のとおりである。

PCメール・携帯メール・ブログ・ミニブログ・SNS（Social Networking Service）のようなインターネットを介したコミュニケーションにおいて、キーボードなどを「打つ」ことによって視覚化されたことばのことを指す。「打ちことば」は、非同期・非対面というメディア特性をもち、親密コードにおいては、自己装いや装飾性の高い要素が多く現れるという特徴をもつ。

一方、文化庁文化審議会国語分科会では、2016年5月13日の国語課題小委員会（第1回）の参考資料3において、コミュニケーションの問題を討議する中に、書き言葉、話し言葉と並んで、「打ち言葉」と書かれているが、「現代はメールであるとか、ツイッターであるとか、打ち言葉とでも言うようなものがコミュニケーションの重要な一角をなしている。打ち言葉の文体というのも、また独特なものが自然に形成されている一方で、伝えたいことがうまく伝わらないとか、誤解が生まれるとかいったコミュニケーション不全を避けるために顔文字や、絵文字、スタンプを入れてみるという、かなり複雑な方面に進んでいる。」という記載があり、この時点では、「打ち言葉」という言葉の定義は明確にはされていない。

2018年3月2日の「分かり合うための言語コミュニケーション（報告）」に関する報道発表では、

電子メールやSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス Social Networking Service：日々の

記録やメッセージの交換などを通じて、友人・知人や、趣味や生活環境などに共通点を持つ人たちと、インターネット上で社会的なつながりを持つことを目的としたサービス)などのテキストのやり取りは、文字に表すという点では書き言葉に入る。しかし、互いのやり取りが比較的短い時間で行われ、一回のやり取りで交わされる情報量も少ない媒体においては、話し言葉に近いものも多く用いられる。こうした、話し言葉の要素を多く含む新しい書き言葉を、本報告では「打ち言葉」と呼ぶ。「打ち言葉」は、主にインターネットを介しキーを打つなどして伝え合う、かつてはなかった新しいコミュニケーションの形である。

と、「打ち言葉」についての言及があり、田中(2014)により、すでに「打ちことば」という言葉は使われていたが、ここで市民権を得たと言ってもよいだろう。以下、文化庁の定義を踏襲し、「打ち言葉」と表記する。「打ち言葉」の特徴として、話し言葉とは異なり、声を伴わないため、イントネーション、リズム、ポーズ、声質といったパラ言語による情報が得られない。そのため、発信者の状況、真意を読み取れないというハンディを負っている。書き手と読み手の間にはたびたび誤解が生じることがあり、そのハンディを克服するためには、創造的な文字の組み合わせや、絵文字、スタンプなど様々な記号を使用するのが有効である。

2.2 若者言葉

総務省情報通信政策研究所調べの「令和2年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」によると、SNSの利用時間が最も長いのは20代で、次いで10代、30代、40代と続く。そのため、SNS上では、若者言葉が散見される。

SNS上で良いコミュニケーションをとるためには、若者言葉を使ったり、集団的知性を表現したりすることも有効である。前者は会話が楽しくなり、連帯感が強まる、また緩衝に効果的であるという特徴もある。不器用をブッキー、変な子をヘンコなどというのがその一例である。後者には、髪が乱れていることを表す「与謝野晶子状態(『みだれ髪』)」、「『東海道中膝栗毛』をもじり了解を意味する「了解道中膝栗毛」など凝ったものも見られる。

2.3 その他

若者言葉の中では、「りよ(りょうかいしました)」「おはあり(おはようのあいさつありがとう)」「バおわ(バイトがおわった)」「乙(おつかれさま)」「リア

タイ(リアルタイム)」「レベチ(レベルが違う)」などの短縮語(略語)が多いこと、また、「エモい(感情が出ている様子)」「それな(そのとおり)」「びえん(控えめな泣き声)」「すこ(好き)」「～しか勝たん(～が最高)」「パワーワード(名言、名フレーズ)」など新語(造語)の誕生がTwitter、Instagram、LINEを中心に頻繁であることも特徴である。

3. 「なりすまし」の事例

「なりすまし」の先行研究は、大きく3つに分けることができる。一つ目は、インターネット上のなりすまし行為の不正を防ぐための技術的な開発(人工知能の観点からの開発も含む)、二つ目は、なりすましによる名誉毀損や、刑事事件などの法律上の判例や対策に関わるもの、最後に、なりすまし詐欺に遭わないための防止策の提言などである。

特に、なりすまし発生の解明と対策、防止のための技術的な研究が多いが、日本語そのものに焦点を当てた研究はほとんどなかった。そこで、本稿では、SNS上で「なりすまし」が成立する日本語の特徴に注目する。

3.1 新聞記事

本学附属図書館のデータベース「ヨミダス歴史館(読売新聞全国版、地域版)」、「聞蔵Ⅱ(朝日新聞、朝日新聞デジタル、アエラ、週刊朝日)」、「毎索(毎日新聞、週刊エコノミスト)」を資料とし、2000年1月1日から5年毎に①なりすまし、②なりすまし+電話、③なりすまし+ネット、④なりすまし+SNSで検索をかけた。その結果、それぞれの件数が検出された。(資料2)

(資料2) データベース検索

	なりすまし	なりすまし +電話	なりすまし +ネット	なりすまし +SNS
2000.1.1.~2004.12.31.	950	234	126	0
2005.1.1.~2009.12.31.	1149	390	181	4
2010.1.1.~2014.12.31.	1215	435	339	43
2015.1.1.~2019.12.31.	922	338	185	56
2020.1.1.~2021.12.31.	420	132	85	53

	なりすまし	なりすまし +電話	なりすまし +ネット	なりすまし +SNS
2000.1.1~2004.12.31.	867	238	134	0
2005.1.1~2009.12.31.	1040	348	206	6
2010.1.1.~2014.12.31.	975	354	320	35
2015.1.1.~2019.12.31.	1059	427	177	56
2020.1.1.~2021.12.31.	320	124	76	42

「毎索」 (件)

	なりすまし	なりすまし +電話	なりすまし +ネット	なりすまし +SNS
2000.1.1～2004.12.31.	462	92	83	0
2005.1.1～2009.12.31.	486	169	114	2
2010.1.1～2014.12.31.	541	143	256	24
2015.1.1～2019.12.31.	519	153	131	25
2020.1.1～2021.12.31.	153	49	51	26

SNS を利用した「なりすまし」は、2005 年以降に出てきており、2010 年以降ケースが増えている。また、2020 年以降の2年間ではさらに増えていることがわかる。

以下に検索結果の中から、誰が誰になりすましたのか明記されているニュースを選び、被告や容疑者の本名は①から④を当て、被害者や関係者はイニシャルで表した。

ケース1)

男子高校生に強制性交容疑 大学生ら2人を逮捕 / 福岡県

2021 年 12 月 8 日 (朝日新聞：朝刊/福岡)

男子高校生に性的暴行を加えたとして、福岡県警は7日、福岡市南区若久1丁目の大学生、①(21)と、那覇市小祿の金融関係会社員、②(22)を強制性交等の疑いで逮捕したと発表した。容疑を認めているという。

春日署によると、2人は共謀して10月27日午後10時ごろ、福岡市南区の駐車場にとめた軽乗用車内で、福岡県内の男子高校生(16)に性的暴行を加えた疑いがある。SNSで「女性になりすまして高校生に自身の画像を送らせ、拡散してほしいと言おうとしたりしろ」などと脅して呼び出したという。

高校生の親から同署に相談があり発覚した。同署は児童買春・児童ポルノ禁止法違反の疑いなども視野に捜査する。

ケース2)

感謝状：電子マネー詐欺未然防止 コンビニ店長に感謝状 岩国署 / 山口

2021 年 9 月 14 日 (毎日新聞：地方版/山口)

SNS(ネット交流サービス)を悪用した電子マネー詐欺を防いだとして、岩国署は13日、コンビニエンスストア「ファミリーマート南岩国町三丁目店」店長、N.Yさん(47)に感謝状を贈った。

同署によると8月8日午後4時ごろ、40代女性がYさんの店の電子マネー売り場を訪れた。思いあぐねた様子の女性は意を決したように、Yさんにスマートフ

オンを見せながら「友達なんですけど、こんなことを言う人ではないのです」と相談。画面には「電子マネーカード5万円分を2枚買って」「カードの裏面のスクラッチを削って写真を送って」などとSNSのメッセージが表示されていた。Yさんは「カード番号を送信させる詐欺だ」と直感し女性に告げて同署に通報した。

その後の調べで、メッセージは友人のアカウントを乗っ取ったなりすましのものだと同署が判明。県内では電子マネーを購入させる詐欺は増加しているが、SNSのなりすましの手口はまだ珍しいという。

同署で、A.I署長から感謝状を受け取ったYさんは「当然のことをしたまで。今後も店のスタッフを含めて積極的に声を掛けていきたい」と話した。

ケース3)

児童ポルノ：高校生に裸動画送らせる 滋賀の教諭、400人分を児童ポルノ容疑、書類送検

2021 年 9 月 10 日 (毎日新聞：朝刊/大阪)

男子高校生に自身のわいせつな動画を撮影・送信させたとして、大阪府警は9日、滋賀県内の公立小学校の男性教諭(32)を児童買春・児童ポルノ禁止法違反(製造)の疑いで書類送検したと発表した。男性教諭は7年前から、SNS(ネット交流サービス)上で知り合った400人超の男子中高生から裸の動画や画像を集めていたとされる。一部の児童ポルノは府内の私立中学校に勤めていた元教諭と交換していた疑いもあり、府警は実態解明を進める。

容疑は2020年6月と21年5月、高校生だった少年2人に「自撮り」させた裸の動画や画像を送らせ、自身の携帯電話に保存したとしている。府警によると、男性教諭はツイッター上で自らを「22歳のOL」と称して女性になりすまし、わいせつ動画などの送信を要求していたとみられる。

男性教諭が入手したわいせつ動画を所持していた元教諭は、教え子だった男子中学生への強制わいせつ容疑などで逮捕されていた◎容疑者(37)。府警は9日、◎容疑者を別の教え子に対する準強制わいせつ容疑で逮捕したことも発表した。

ケース4)

女性かたりロマンス詐欺 72歳男逮捕 50人1.2億円被害か

2021 年 7 月 16 日 (読売新聞：夕刊/大阪)

イエメンで働く国連所属の日本人女性医師をかたり、マッチングサービスで知り合った男性に「退職して一緒に日本で暮らしたい」ともちかけて約115万円を詐取したとして、大阪府警が日本人の男を詐欺容疑

で逮捕していたことが捜査関係者への取材でわかった。

府警は、外国人らになりすまして SNS で親しくなった相手から現金をだまし取る「国際ロマンス詐欺」の一種とみており、男は同様に、50人以上から計約1億2000万円を集め、半額をガーナに送金していたという。府警は国際的なグループが関与しているとみて捜査している。

兵庫県西宮市、会社役員⑩被告(72)。府警が6月に逮捕し、今月14日に大阪地検が詐欺罪で起訴した。容疑を否認している。

起訴状や捜査関係者によると、⑩被告はガーナにいる日本人らと共に謀し、2019年8月、女性医師になりすまし、60歳代男性にLINEで一緒に暮らすことをもちかけ、約115万円を詐取したとされる。20年6~9月には日本在住の米国人女性をかたり、別の50歳代男性からも34万円を詐取していたという。

⑩被告は、知人の男女に口座を作らせ、被害者が口座に振り込んだ現金をガーナにいる日本人に送金しており、府警は⑩被告の役割や背景を調べる。

ケース5)

中学生に下着姿画像送らせた疑い 福岡の大学生を逮捕 女子中学生になりすまし/福岡県

2021年6月22日(朝日新聞:朝刊/福岡)

SNSを悪用し、女子中学生に下着姿などの動画や画像を送らせたとして、県警は21日、福岡市西区姪の浜4丁目、大学4年⑩容疑者(22)を不正アクセス禁止法違反(不正アクセス行為の禁止)と児童買春・児童ポルノ禁止法違反(製造)の疑いで逮捕し、発表した。

県警によると、⑩容疑者は「若い女性に画像を送らせていたのは間違いないが、その子についてはよく覚えていない」と話しているという。

サイバー犯罪対策課によると、⑩容疑者は昨年9月19日、タブレット端末を使って面識のない女子中学生のSNSに不正にログイン。その中学生になりすまし、フォロワーである静岡市の女子中学生(13)に「母親が下着をつくる仕事をしている。手伝ってほしい」とメッセージを送って下着姿などの動画や画像を撮影させて送らせ、データを保存した疑いがある。

捜査関係者によると、⑩容疑者は「インスタグラム」で若い女性を物色し、誕生日や名前といった情報からパスワードを推測してアカウントを乗っ取っていたとみられる。

昨年5月、県警に別の相談があり、⑩容疑者が浮上。県警は、数年にわたり同様の手口を繰り返していたとみて、余罪も調べている。

ケース6)

女性になりすまし 詐欺容疑で男逮捕 琴平署=香川
2020年8月27日(読売新聞:朝刊/大阪)

SNS上で女性になりすまし、男性から48万円をだまし取ったとして琴平署は26日、川崎市宮前区けやき平、無職⑩容疑者(33)を詐欺容疑で逮捕した。

発表によると、⑩容疑者は3月、女性になりすまし、SNS上で知り合った県内の男性(27)に、架空の借金の返済名目で金の借用を申し込み、48万円を振り込ませ、だまし取った疑い。容疑を認めているという。

ケース7)

子ども自画撮り、被害が多発 裸の画像送信 要求、県が罰則化へ /宮城県

2018年11月23日(朝日新聞:朝刊/宮城)

「自分も見せたから、裸の写真を送って」「誰にも見せないから」

県警は10月、小学6年の女兒(12)に自分の裸の写真を撮ってデータを送らせたとして、茨城県の小学校講師の男(22)を児童買春・児童ポルノ法違反(製造)の疑いで逮捕した。

県警によると、男は女兒とスマートフォンのゲームで知り合い、SNSを通じて数日間やりとりをしていた。小学生の女の子になりすまして性的な写真を女兒に送り、女兒にも写真を送るよう求めた。女兒はいったんは拒んだが、自分だけ送っていない罪悪感から、裸の写真を撮って男に送信してしまったという。女兒のスマートフォンは、有害サイトの閲覧を制限するフィルタリングがかかっていたいなかったという。

男は同法違反の罪で起訴され、11月には、同様の手口で東京都内の小学4年の女兒(9)に裸の写真を送らせたとして、警視庁に再逮捕された。

ケース8)

被害女性の生存偽装か 練馬遺棄 強殺容疑男 LINEで

2019年1月10日(読売新聞:朝刊/東京)

東京都練馬区的女子専門学校生が遺体で見つかった事件で、女子学生のスマートフォンから、友人に「具合が悪い」とLINE(ライン)のメッセージが送られていたことが捜査関係者への取材でわかった。警視庁は、強盗殺人容疑で9日に再逮捕した⑩被告(27)(死体遺棄罪で起訴)が、女子学生になりすまして生存を偽装したとみている。

⑩被告は昨年11月29日頃、練馬区平和台の学生寮の部屋で、住人のN・Tさん(20)を窒息死させ、クレジットカードやキャッシュカードを奪った疑いで再

逮捕された。調べに対し、「弁護士と相談して話す」と供述している。

警視庁幹部によると、Tさんは29日以降、学校を欠席。心配した友人が「学校来ないの？」とラインでメッセージを送ると、Tさんのスマートフォンから「具合が悪い」などと返信が来た。学校にも家族を装う人物から「のどの調子が悪いので休む」と連絡があったという。

この時点でTさんは死亡していたとみられ、警視庁は、㊸被告がTさんの生存を装ったとみている。

都内のATMの防犯カメラには29日、マスク姿の㊸被告が、Tさんのキャッシュカードで預金を引き出す姿が映っていた。12月上旬にはTさんのクレジットカードを使い、静岡、山梨、長野県などで飲食代や高速料金など約20万円が支払われていた。

3.2 「なりすまし」の方法

ケース2) 5) 8) のように、目ぼしい人物のアカウントを乗っ取り、実在の人物に成り代わって悪事を働く場合と、ケース1) 3) 4) 6) 7) のように、都合のよい人物として振舞い、なりすまし場合がある。本稿では、後者のケースでなりすましの成立を考察する。

3.3 その他のなりすまし

本稿では分析の対象としないが、SNS上のなりすまし問題として、法人のインスタグラムアカウントのなりすましアカウント(偽アカウント)問題などがある。これは、ユーザーネーム、文章、投稿内容などが酷似されているため、一見して偽アカウントだと気付かず、個人情報盗まれ悪用される可能性のある注意が必要なものだ。

4. 「なりすまし」の成立

なぜ「なりすまし」が成立するのか、日本語がもつ特有の性質から探してみる。発信者本人ではない他の誰かがなりすましメッセージを送っても、なりすまされた人物からの送信だと考えられるのは、「役割語」またその中の「自称」が大きく関わっているのではないかと推測する。

4.1 役割語

金水(2003)は、「そうじゃ、わしが知っておる」は老博士のことば、「そうですねよ、わたくしが存じておりますわ」はお嬢様のことばであると指摘している。

金水(同2003、p205)によれば、役割語とは、次のようなものである。

ある特定の言葉づかい(語彙・語法・言い回し・イントネーション等)を聞くと特定の人物像(年齢、性別、職業、階層、時代、容姿、風貌、性格等)を思い浮かべることができる時、あるいは、ある特定の人物像を提示されると、その人物がいかに使用しそうな言葉づかいを思い浮かべることができる時、その言葉づかいを「役割語」と呼ぶ。

3の新聞記事の事例ではそれぞれ以下の人物になりすまし〔 〕内の人物が被害者となった。

- 1) 男子大学生(21)と男性会社員(22)→女性〔男子高校生(16)〕
- 2) 女性の友人アカウント乗っ取り〔女性(40代)〕
- 3) 男性教諭(32)→22歳のOL〔男子高校生(2人)〕
- 4) 日本人男性(72)→日本人女性医師〔男性(複数)〕
- 5) 男子大学生(22)→女子中学生(不正ログイン)〔女子中学生〕
- 6) 男性(33)→女性〔男性(27)〕
- 7) 男性小学校講師(22)→小学生女児〔小6女児(12)、小4女児(9)〕
- 8) 男性(27)→女子大学生本人〔女子大学生(20)〕

ニュースで公開されている「なりすまし」は、全て刑事事件であり、容疑者や被告が実際になんと発話したのかという正確な情報を入手することは困難である。そのため、本来であれば、なりすましが成立するための要素である文末表現なども分析しなければならないが、現実には難しい。

しかし、いずれのケースも、年齢、性別、職業全てをなりすましており、被害者は被告・容疑者がなりすました人物をそのまま受け入れ事件へと発展していることを考えると、「役割語」はなりすましが成立する一つの要素だと言って差し支えないだろう。

役割語とも深く関係している要素に人称がある。次の4.2では日本語の人称についてみていく。

4.2 一人称代名詞

『現代言語学辞典』によると、英語、ドイツ語、フランス語、フィンランド語の人称代名詞(personal pronoun)は数が限られている。(資料3)

一方、日本語に関しては、現在一般には使用されていないものを含めると、他の言語とは比べものにならないほどの種類があるが、新語が発生しても時代とともに消滅するものもある。

(資料3) personal pronoun

	英語	ドイツ語	フランス語	ドイツ語	日本語	
一人称(主格)	単数 I	ich	je	ich	{私 {自分	
	複数 we	wir	nous	me	{わたし達 {自分達	
二人称(主格)	単数 you	du/Sie	tu	sin3	{あなた {君	
	複数 you	Ihr/Sie	vous	te	{あなた達 {君達	
三人称(主格)	単数	he	er	il	h3n	{この方*(近称) {その方*(中称) {あの方*(遠称)
		she	elle			
	複数	they	sie	ils	he	{この方*(近称) {その方*(中称) {あの方*(遠称)
		it	es	elle	elles	彼ら

出典：田中春美ほか編 (1988) 『現代言語学辞典』成美堂 p. 484

鈴木孝夫 (1973, p.145) によれば、

現代日本語のいわゆる人称代名詞が、自分及び相手そのものを直接に指し示すことばを持たず、常に間接迂言的な表現を用い、しかも歴史的にも頻繁に交替してきたという事実は、正にタブーの性格を持っていると言わねばならない。たしかに日本人は、前にも述べたように、できるだけ会話の中で人称代名詞を使わないで済まそうとする傾向が今でも強いのである。

この事実を、インド・ヨーロッパ諸語では同一の人称代名詞が何千年もの間、用い続けられていることと比べると、両者を同一の言語的範疇として、共に人称代名詞の名で呼ぶことの正当性が疑われるのは当然であろう。

と言及している。

そのことについては、飛田良文・佐藤武義 (2002, p73) が、一人称代名詞は時間の流れとともに移り変わっており、どの時代にも新語が生まれる例でもあることを示している。(資料4)

石黒 (2013) は、人称表現を代名詞系 (わたし、ぼく、おれ)、指示詞系 (こっち、こちら)、固有名詞系 (高橋、真理子、マリ)、親族名称系 (お母さん、おじいちゃん、お姉ちゃん)、役割名称系 (先生、車掌、司会) の5つの種類に分けて整理している。さらに、一人称は、話し手のアイデンティティに根ざすものであるとある。そのように考えると、なりすました人物が人称表現を正しく真似て使い分けることで、「なりすまし」の成立を助長していると言えるだろう。

また、小林 (2016) は、日常生活の談話資料を分析する中で「場面・相手による自称詞の使い分けは、おおむね相手との性差・年代差・立場差や談話の性質な

どに応じ、それぞれの自称詞のもつ待遇的価値・性質を反映している」と言っている。

(資料4) 一人称代名詞 (話し言葉) の移り変わり

	奈良	平安	鎌倉	室町	江戸	明治 大正 昭和	戦後
あ							
あれ							
わ							
われ							
まる							
なにかし							
みずから							
おれ							
こなた							
これ							
それがし							
わらわ							
こち							
この方 拙者							
てまえ							
み							
みども							
わたくし							
わし							
おいら							
こちと							
こちら							
わたし							
わちき							
わっち							
あたくし							
あたし							
あたい							
ぼく							

出典：飛田良文・佐藤武義編 (2002) 『現代日本語講座 第4巻 語彙』明治書院 p. 73 「現代日本語の起源」表2 一人称代名詞 (話し言葉) の移り変わり

人称代名詞がいくつもある中で、その人物が選んだ自称詞を SNS の中で同じように使用されていたら、受け取る側は何も疑わずに、本人と打ち言葉による対話をしていると容易に思い込み、なりすました人物とメッセージを交換しているとは想像もしないであろう。

田中 (2014) が、「打ちことば」は自己装い性や装飾性の高い要素が多く現れると言っているように、自らにどの一人称を使うかも、SNS 上では自由である。以下にその例を挙げる。

ケース 9)

特集ワイド：「ツイッター妖精」やめる

2019年2月18日 (毎日新聞：夕刊/東京)

ツイッターのフォロワーは18万人以上にもなる。9歳の時から「ぼく」の一人称を用いて、いじめなどの社会問題について発言し続けてきた女優、春名風花さん(18)が18歳の誕生日を前に、「ツイッターの妖精をやめます」と宣言し、話題を呼んでいる。

「はるかぜちゃん」と呼ばれていた子役時代、東京都青少年健全育成条例の改正案可決にく都条例ぶんすか(ω) >とつぶやき注目された。一方、「うざいガキ」「大人のなりすましでは」とバッシングを受けるなど炎上騒ぎは度々あった。殺害予告を受けたこともある。

生まれた時から携帯電話のあった世代。SNS(ソーシャル・ネットワークキング・サービス)上で、顔の見えぬ匿名の人間の悪意にさらされながらも、言葉による膨大な数のやり取りを重ねてきた。そんな「ツイッター歴9年」の日々は、今の演技に、どうつながっているのだろうか。

このように、自称詞はそれを使う主体の選択にゆだねられており、SNS上で人物を形成するために重要であり、人物特定にも役立つ、「なりすまし」を成立させる大きな要素と言える。

4.3 中性化

小林(2019, 2020)によれば、「現代の日本語において、女性だけが使うとされた文末助詞「わ」「かしら」などが使われなくなり、かわりに「だ」「かな」などが男女ともに使われるようになった、という意味での「中性化」は、すでにさまざまな調査によっていわれている。」また、「従来女性専用とされた疑問を表す「の?」が、男女ともに最も普通の言い方になっていることもわかった。」という。

女性ことばの中性化が進んでいることも、発信者の性別をわかりにくくし、なりすましを容易にさせている原因の一つと言っていいだろう。

5. 今後の課題とまとめ

本稿では、他人になりすましてSNS上で活動をするなりすまし行為について、そもそも、なぜSNS上で「なりすまし」が成立するのか、日本語の特徴である「役割語」と「自称」に注目し言語の観点から考察を試みた。2000年に入ってから急速に普及したSNSに関しては、打ち言葉の教育や、ネットリテラシーの教育などまだまだ必要なことが追い付いていない状況である。特に、SNS上のトラブルは犯罪行為に結びついていることも少なくなく、ネットリテラシーの教育の構築が必須である。

5.1 打ち言葉教育の実践

毎年、文化庁主催の国語問題研究協議会が開催されているが、令和3年度は、山梨県山梨高等学校国語科が「打ち言葉」に関する授業実践の取組報告を行った(2021年11月24日)。報告によると、現状として、携帯メールやSNS上の私的場面で用いられる「打ち言葉」は、従来の日本語表記と異なるものが多く、その使用率は世代差が大きい。また、生徒が書く授業の感想や学級日誌などに「打ち言葉」が散見されており、高校生が日常的に用いる言葉の実態を知る必要性を感じたのが、授業実践の動機であり、「打ち言葉」の特徴を理解した上で、社会生活の中で使われるメールの言葉遣いとの違いを考え、相手や場面、メディアによって変わる有効な伝え方について考えるきっかけを作るのが授業の目的だという。

5.2 ネットリテラシー教育の必要性

山梨高等学校の打ち言葉教育の実践は、打ち言葉が社会に通用する言語ではないことを教育するものであったが、なりすましの事例で見えてきたように、打ち言葉に潜む危険性も、ネットリテラシーの一部として早い段階から教育していく必要があるだろう。

なりすまし等に加え、アイドルの瞳に映った景色から居場所が判明してしまいストーカー行為に発展した実際のケースなど犯罪の実例についても併せて伝えていくことが大切である。

SNSの活用には多くの利点があるとともに、正しくこわがる知識を身に着けることも重要である。

5.3 まとめ

相手に気づかれずに「なりすまし」を行うには、地域によっては方言にも気を配る必要がある。もともと大阪の方言であった「めっちゃ」などは、現在SNSで頻繁に見かけるようになった。この点に関しては、引き続き考察を続けていく。

さらに、日本語とは異なる特徴をもつ言語が使用されている国では、SNSのトラブルにおいて言語と関係して発生しているケースがあるのかという検証も必要であろう。

今後もさまざまな現象と日本語の関係を探っていきたい。

参考文献

石黒圭(2013)『日本語は「空気」が決める—社会言語学入門—』光文社新書

- 金水敏 (2003) 『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』岩波書店
- 金水敏 (2007) 『役割語研究の地平』くろしお出版
- 金水敏 (2011) 『役割語研究の展開』くろしお出版
- 金水敏 (2014) 『コレモ日本語アルカ?』岩波書店
- 金水敏 (2014) 『〈役割語〉小辞典』研究社
- 小林美恵子 (2016) 「日常生活」における自称詞—特徴と使い分け— 遠藤織枝ほか編『談話資料 日常生活のことば』 pp.41-72 ひつじ書房
- 小林美恵子 (2019) 「映画『何者』にみる若者ことばの「中性化」」『ことば』40 pp.106-123 現代日本語研究会
- 小林美恵子 (2020) 「『談話資料 日常生活のことば』にみる女性のことばの「中性化」」『ことば』41 pp.3-20. 現代日本語研究会
- 定延利之 (2011) 『日本語社会のぞきキャラくり』三省堂
- 鈴木孝夫 (1973) 『ことばと文化』岩波新書
- 田中春美他編 (1988) 『現代言語学辞典』成美堂
- 田中ゆかり (2011) 『「方言コスプレ」の時代—ニセ関西弁から龍馬語まで』岩波書店
- 田中ゆかり (2014) 「ヴァーチャル方言の3用法『打ちことば』を例として」石黒圭・橋本行洋 (編) 『話し言葉と書き言葉の接点』ひつじ書房 pp.37-55
- 飛田良文・佐藤武義編 (2002) 『現代日本語講座 第4巻 語彙』明治書院
- 米川明彦 (1998) 『若者語を科学する』明治書院

参考サイト

・総務省ホームページ

令和2年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査 (8月25日掲載) 報告書

閲覧日: 2021年12月28日

https://www.soumu.go.jp/iicp/research/results/media_usage-time.html